

令和4年度 御船小学校
外国語活動公開授業

本校の英語教育について

令和5年2月1日（水）

▶○御船町総合計画

「みんながわくわくする御船町」

▶○英語日本一のまちづくり

小学校入学の段階から外国語（英語）の音声や基本的な表現に慣れ親しみ積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、英語を通して言語や文化に対する理解を深め、「聞くこと」「話すこと」等の実践的コミュニケーションの基礎を培う。

* 教育課程特例校

- 令和2年度より、低学年での英語教育において教育課程を編成
- 低学年で生活科から35時間、外国語活動の時間確保→週に1時間、ALTと担任による授業

	1年	2年	3年	4年	5年	6年
英語活動	35	35	35	35		
英語科					70	70

*全学年通しての取組

○系統立てた年間指導計画の作成

○コミュニケーションポイントの提示

毎時、黒板にカードを掲示し、5つのコミュニケーションポイントを意識して活動に取り組む意識を持たせる。

○ふり返りシートの活用

毎時ではなく、必要な時間を選択し活用する。



* 教育課程特例校 公開授業

- ▶ ○期日 令和5年2月1日（水）
- ▶ ○単元名 動物園をつくろう（7時間扱い 本時5／7）
- ▶ ○単元の目標
- ▶ ①動物について日本語と英語の発音の違いに気付き、英語の音声に慣れ親しんでいる。【知識及び技能】
②友達に自分のことを知ってもらうために、自分の好きな動物について、学習した語彙や表現を使って伝え合っている。【思考力・判断力・表現力等】
③自分の好きな動物を相手に伝え合おうとする。【学びに向かう人間性など】

- 単元を通した学習課題
- ▶ 友達に自分のことを知ってもらうために、オリジナルの動物園をつくり、好きな動物について友達と伝え合おう。

* 教育課程特例校 公開授業

○本単元における系統

1年 1～2月（8時間）

『いろいろな動物』

- ・動物と色の言い方に慣れ親しむ。
- ・好きな動物と色を答える。

2年 10～12月（7時間）

『いろいろな食べ物』

- ・野菜や果物の言い方に慣れ親しむ。
- ・好きな野菜や果物を尋ねたり、答えたりする。

2年 1～2月（7時間）

『動物園を作ろう』

- ・動物の言い方に慣れ親しむ。
- ・好きな動物を尋ねたり、答えたりする。

3年 Let's Try!

『What do you like?（何が好き？）』（4時間）

- ・身の回りの物の言い方や、何が好きかを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しみ、伝え合う。

* 教育課程特例校 公開授業

○本時の目標

相手に伝わるように工夫しながら、オリジナル動物園づくりを通して、友達に好きな動物を尋ねたり、答えたりして、自分の好きな動物を伝え合っている。

○児童に示す本時のゴール

友達に好きな動物を伝えて、オリジナル動物園をつくろう！

○期待される学びの姿

相手に伝わるように工夫しながら、オリジナル動物園をつくるために、友達と好きな動物を伝え合おうとしている。

* 教育課程特例校 公開授業

○指導上の留意点

- 単元を通した学習課題を「友達に自分のことを知ってもらうために、オリジナルの動物園をつくり、好きな動物について友達と伝え合おう。」と設定し、単元のゴールを児童と共有することで、学習の意欲を高めるとともに、活動の見通しを持たせる。
- ALTの生の外国語に触れさせることで、外国語の音声やリズムに慣れ親しませる。
- 自分の好きな動物を言えるようになるために、ペアやグループ、全体での学習形態での言語活動を通して、必然的に外国語を使えるようにする。
- 中間評価を活動の途中で入れることで、コミュニケーションポイントを意識させていく。また、よい表現の仕方を共有することで、「自分もやってみよう。」と思わせたり、自信をもって活動に参加したりできるようにしていく。
- 振り返りの時間を十分に確保し、めあてやコミュニケーションポイントをもとに振り返りができるようにする。

* 教育課程特例校 公開授業



笑顔で、楽しく、テンポよくスタート！
ALTとのデモンストレーションで、本時の内容をつかみます。



アニマルゲームで、楽しく使いながら、基本表現
What animal do you like?/
I like~.
の定着をはかります。



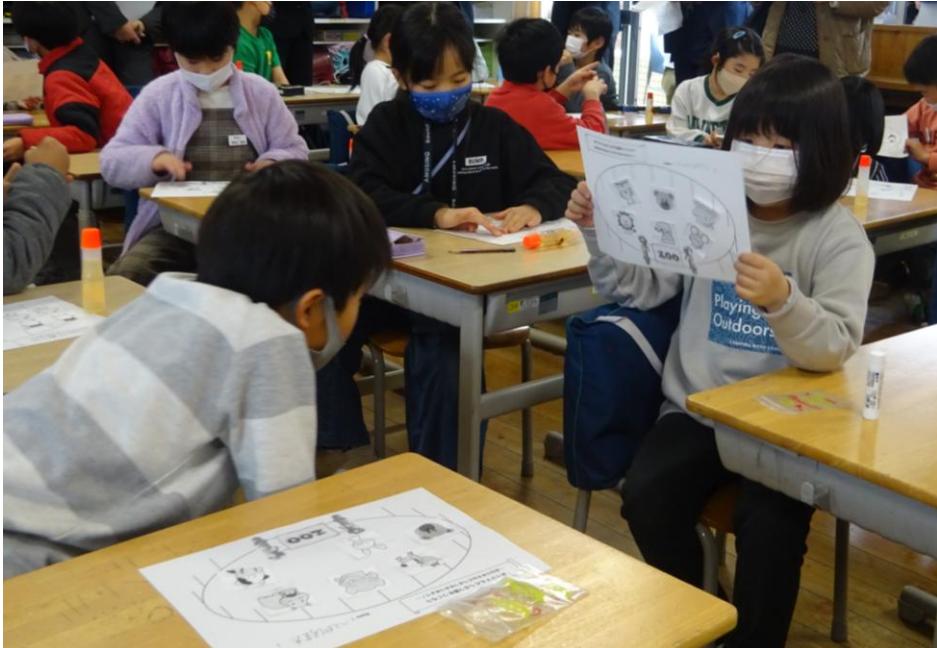
* 教育課程特例校 公開授業



列ごとに、飼育員とお客様に分かれて、好きな動物を集めていきます。中間評価で、児童の困り感を拾い、また、よかつたところをほめて、更に自信をもって再度取り組めるようにします。

集めたカードを、ワークシートに貼って、
オリジナル動物園を完成！

* 教育課程特例校 公開授業



ペアで、自分の動物園をペアの友達に紹介！
My zoo. I like ~.



最後に、数名に全体で紹介してもらい、本時の頑張り、よかつたところをほめて、次の予告をし、まとめとしました。

* 参加者の感想 *

- 単に自分の好きな動物を使って動物園をつくるのではなく、それをつくるために、好きな動物を伝え合う、伝えるためにGameをするなど、全てがつながっているなど感じました。先生が意識させたコミュニケーションポイントを「じゃあそうしよう」といいながら活動していた男の子が印象的でした。
- アニマルゲームなどステップをふんで英語表現を使う内に、子供たちが自然と言えるようになっていて、繰り返し言うことの大切さがわかりました。
- クラスルームイングリッシュを使った指示の出し方、子供とともに楽しく学ぶ姿勢、学級のあたたかい雰囲気作りなど、とても勉強になりました。
- 授業において、英語を積極的に使われていて、子供たちが指示の通りに動けており、日頃から取り組まれていらっしゃるのだろうと思いました。
- 先生も、子供たちもとても楽しそうな授業で、教師自身が楽しむ姿は子供たちに伝わるんだということを改めて感じました。
- 子供たちがいきいきと英語を話している姿がすてきでした。その姿を見ると、「この子たちは、きっとためらいなく外国の人に声をかけられる大人になるだろうな」と思いました。